



教えて！
営農さん

花芽分化のメカニズムについて

種蒔きが1日遅れると10日ほど収穫時期が遅れるといわれています。
種蒔きの適期を逃さないために、植物のメカニズムの一つ「花芽分化」についてご紹介します。

野菜の種蒔きには適期があります。適期を見極め、計画的に作付けしましょう。

【編集担当】
営農振興課 荒川 恵梨奈
「教えて！営農さん」では、農産物の栽培に関する情報をお届けします。



花芽分化について

植物は、気温や日照時間、生育段階など、ある一定の環境・条件が揃うと、生長点（茎頂分裂組織）に花芽ができます。これを「花芽分化」といいます。

花芽分化に影響を与える環境・条件

- ① **気温・温度**：一定期間、低温にあう、あるいは高温にあうことで花芽ができる
- ② **日長条件**：日の長さが短くなる（短日）あるいは長くなる（長日）と花芽ができる
- ③ **生育条件**：ある程度の大きさに生長すると花芽ができる

環境・条件		作物
気温・温度	低温	種子バーナリゼーション ハクサイ、コマツナ、ダイコン、カブ、ソラマメ
	高温	緑植物バーナリゼーション キャベツ、セロリ、タマネギ、イチゴ、カリフラワー、ブロッコリー、ネギ、ニンジン、ゴボウ、ニンニク、パセリ
日長	短日	レタス
	長日	イチゴ、シソ、サトイモ、サツマイモ
栄養(中性植物)		トマト、ナス、ピーマン、トウモロコシ

※種子バーナリゼーションとは、タネが播種後の低温に反応して花芽が形成される植物
※緑植物バーナリゼーションとは、一定の大きさに生長してから低温に反応して花芽が形成される植物

収穫前に開花し、根が太らなかつたり、株が大きくならず苦勞されたことはありませんか。その原因は、花芽分化が進んだ「とう立ち」が考えられます。



「とう立ち」により、花芽に栄養が取られ食味が落ち、商品にならないこともあります。品種特性や栽培適期の確認、肥料管理などをしっかり行いましょう。とう立ちを防ぐための品種選びや栽培管理については、地区担当の営農指導員にご相談ください。



はじめての
家庭菜園

サラダに入れて味のワンポイントに
エンダイブ
縮れたフリルのような葉とほろ苦さが特徴的なレタスの仲間。「こにがちしゃ」ともいわれます。家庭菜園の場合は結球しない品種がおすすめです。

① 種まき

種が流れないように注意する

2.5〜3号の育苗ポットを用意し、無肥料の土を入れる。瓶の底などで中央をへこませて種をまき、土をごく薄くかぶせ、上から押さえて種と土を密着させる。水やりの際も、はず口を上に向けて、やさしく水を与える。乾燥に注意し、生育が悪いものを間引きながら、葉が3〜4枚になるまで育て、コンテナに植え替える。

② 植え付け・追肥

コンテナは大きめのものを使用

コンテナには培養土を入れる。生長点を埋めないよう、注意しながら苗を植え付ける。植え付けて2〜3週間後に化成肥料を軽くまき、土と馴染ませる。

③ 収穫

内側が日光にあたらぬようにする

株が大きくなってきたら、外葉を包みこむようにして紐でしばり、内葉を軟白化させる。内側が黄白色になったら収穫する。



日は当たると苦みが出るので

内部に日が当たらないように外葉をしばる



本葉が3〜4枚になったら植え替えの適期

細かい



ここに注意

●土を厚くかぶせると芽が出にくいので、種が隠れるか隠れないか程度にする。

栽培のポイント

- 発芽までに土が乾燥しないように注意する。
- 種が流れやすいため、水やりはやさしく。

参考文献：はじめてのやさしい野菜づくり(新星出版)
新・野菜の便利帳 おいしい編(高橋書店)
からだに優しい 野菜の便利帳(高橋書店)

用意するもの

- 種 ●育苗ポット ●無肥料の土 ●瓶
- コンテナ ●鉢底石 ●培養土 ●化成肥料

栽培カレンダー

6	7	8	9	10	11	12	1	2
			種まき					
				植え付け				
							収穫	

